

# ありがとうの気持ちを込めて 閉校記念式典

## 千畑南小学校閉校記念式典

3月3日に千畑南小学校（鈴木恒久校長）で閉校記念式典が行われ、児童や地域住民、同校の卒業生など約400名が参加しました。

式典では松田町長が「(千畑小学校になれば) 倍の人数の友達が出来て、色々な行動が出来る可能性が出てくる。今回の閉校にはそうした動機と可能性があることを児童のみさんには理解してほしい」と式辞を述べ、4月に開校を控えた千畑小学校に寄せる期待を新たにしました。鈴木校長は同校の沿革を紹介し、「過去があるから今があり、今があるから未来がある。未来に続くそれぞれの一本道を歩むみなさんを見守ります」と春からの新生活に臨む児童たちにエールを送りました。

引き続き行われた児童による呼びかけでは、楽しかった学校生活を振り返り、「未来に向かってしっかりと歩いていきます」と大きく声をそろえ、思い出いっぱいの学び舎に別れを告げました。



## 千屋小学校閉校記念式典

3月9日に千屋小学校（小原靖校長）で閉校記念式典が行われ、児童や地域住民、同校の卒業生、交流を続けてきた御田小学校長など、約430名が参加しました。

式典では松田町長が「普段見えていなかったことが、何かのきっかけによって見えてくることがあります。この一年間に皆さんが見つけた千屋小学校の良さを記憶にとどめ、千畑小学校へつないでほしい」と式辞を述べました。小原校長は同校の沿革を紹介し、「これまで千屋小学校を守ってくださった全ての方々に感謝します。子どもたちには、夢と希望を持ち、理想と志を高くして歩んでほしい」と、新しい一歩を踏み出す子どもたちへメッセージを送りました。

引き続き行われた児童による呼びかけでは千屋小学校の歴史や「ありがとうをつなげよう」と題して活動した今年度の活動を振り返りながら、第一線で活躍している卒業生から教えてもらった手品やダンスを披露。この日のために作成されたテーマ曲「大好き♡千屋小」を全校児童で合唱し、明日への誓いを新たにしました。



## 文化勲章受章 高階秀爾氏による講演会を開催します

昨年度、美術評論分野で初の文化勲章受章者となられた高階秀爾氏をお招きし、講演会を開催します。

高階氏は父親が旧千畑町の出身だった縁で、戦中は大仙市に疎開し、旧制角館中（現角館高）で勉学に励まれるなど、仙北地域とゆかりの深い方です。講演会は美郷中学生を対象に行いますが、一般の方も聴講できますので、皆さんもぜひご来場ください。

日時●4月25日(木) 午後2時～

会場●美郷中学校 体育館

美術評論家 高階 秀爾 氏

昭和7年生まれ。東京大学大学院在学中にパリに留学。フランス近代美術やイタリアのルネサンス美術を研究し、帰国後は東京大学の教授、国立西洋美術館長などの要職を歴任。著作は、翻訳本、画集の監修などを含めれば膨大な数になる。紫綬褒章やフランス政府から数々の勲章を受章。このたび長年の評論活動や芸術文化振興への貢献が認められ文化勲章を受章。

大原美術館館長。西洋美術振興財団理事長。東京大学名誉教授。東京都在住。





# 学校再編による空き施設の活用について

## 1 旧六郷東根小学校・旧仙南西小学校・旧金沢小学校

### 貸付予定企業がまとまりました

町では、平成23年5月に定めた「学校再編による空き施設等活用計画」に基づき、企業用施設とした旧六郷東根小学校、旧仙南西小学校、旧金沢小学校の3施設について、利用を希望する企業等を昨年9月から募集していました。

これまで、各施設について1企業ずつの応募があり、町では、企業との面接、議会との意見交換会や地元説

明会を開催するなど、貸付の適否についての検討を重ねてまいりました。このたび、これらの検討を踏まえて、次のとおり貸付予定企業を決定しましたのでお知らせします。

今後は、企業と詳細な内容を協議の上、国への財産処分申請等の所定の手続きを進め、認可後に貸借契約を締結する予定です。

### ■学校再編による空き施設の貸付予定企業等

対象施設名	貸付予定企業(本社)	利用目的
旧六郷東根小学校	E N E X株式会社 (美郷町)	・地下水熱ヒートポンプシステム組立工場 ・同システムを利用した農産物生産試験場
旧仙南西小学校	大同衣料株式会社 (大仙市)	・衣料品のストックヤード
旧金沢小学校	三共光学工業株式会社 (東京都荒川区)	・光学レンズ製造における開発部門用施設 ・社員の福利厚生施設

## 2 旧仙南東小学校・旧千畑南小学校

### 「県南地域における多様な交流推進による美郷活性化プロジェクト」が立ち上がりました

町では「秋田県市町村未来づくり協働プログラム」を活用し、県と協働して「県南地域における多様な交流推進による美郷活性化プロジェクト」を立ち上げました。本プロジェクトは、空き校舎などを活用して様々な交流や体験活動の機会を創出し、県南部の中心として広域的な交流人口拡大による本町の活性化を図るものです。期間は平成25年度から平成28年度までとし、県から2億円の交付が予定されています。

### 「秋田県市町村未来づくり協働プログラム」とは？

重要な地域課題を解決するために市町村が提案したプロジェクトについて、企画段階から実施、フォローアップまでを県と市町村が協働で推進するものです。プロジェクトを実施する市町村に対して「あきた未来づくり交付金」を交付し、プロジェクトを促進します。

### プロジェクトの柱

- スポーツ、歴史等の多様な体験・宿泊を推進する新たな交流機会の創出
- 多様な体験・宿泊を提供できる滞在型・滞留型拠点施設の強化



### ■学校再編による空き施設の活用方法

対象施設名	整備施設	利用目的
旧仙南東小学校	・ 宿泊交流施設	・ 各種大会や合宿での利用のほか、美郷町特有の資源を活用した体験型の宿泊交流活動が可能な施設
旧千畑南小学校	・ 歴史民俗資料展示施設 ・ 屋内球技施設 ・ 公園（平場の森）	・ 県内有数のわら細工などの収蔵物を展示し、見て、触れて、学べる施設 ・ 屋外スポーツ等の雨天時や冬期の練習が可能な施設 ・ 憩いの場となる樹木（薬樹）を中心とした公園（グラウンド活用）

※公園整備は町単独事業です。